

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 POCCO音の泉しょうわちゅうおう		
○保護者評価実施期間	2024年11月7日		2024年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	2024年11月7日		2024年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽を通して感性・社会性・心身の発達を促し、言葉や人との関わり、情緒の安定、運動機能の向上を目指しています。	リトミックや歌、ダンス等、すべて音楽をもとに行われています。月の歌は、季節に合った歌を選び、言語の練習も兼ねています。	楽しい雰囲気の中で行う。全員参加型の内容も取り入れ、一体感をあじわえるように工夫していく。
2	子どもたちが自発的に行動できるよう、音楽を通じてルーティン化しています。	お片付けの場面では、ピアノを弾いて知らせています。即時反応を促し、「みんな一緒に」行動します。	一つ一つの行動を称賛されることで、自己肯定感を高められる。
3	保護者との関わりや悩みに寄り添います。	送迎時に活動の様子をお伝えしたり、実際に療育現場を見ていただき、悩みに寄り添っていきます。	どんな時も保護者に寄り添ったお話しができるよう努めています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わり	児童発達支援は、土曜日に限られているため地域との交流ができませんでした。	今後は、企業内保育所との関わりを増やしていきたいと考えています。
2	職員の配置	法定基準は守られていますが、プログラムを進行するうえで不足を感じている。	子どもたちが安全に過ごせるよう、気を付けてまいります。
3	保護者会について	現在、保護者会はないが、今後要望があった場合は会社全体で考えていきたい。	保護者に負担にならないような交流を考えていきたいと思う。